

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.6 (1962. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19620601--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1962年 6月号

論 説

- 集团的企業の下における
農業生産力構造の変化と拡大再生産方式.....平野 絢子 1
- 表式的均衡と生産価格.....持丸 悦朗 38
——転形問題の一論点——
- いわゆる「啓蒙の概念」について.....田中 明 54
——国家論と思想史方法論の問題点——

資 料

- フェルムをめぐる若干の問題.....渡辺 國廣 70
——十七世紀フランス農業史の研究——

書 評

- 入江節次郎著『独占資本イギリスへの道
——現代への序曲——』.....飯田 鼎 80

新刊紹介
昭和37年上半期総目次

55 卷 **6** 号

昭和37年6月1日発行
昭和37年5月21日印刷
第三種郵便物認可
（毎月1日発行）
第一九〇三号

昭和37年5月1日発行
昭和37年4月11日印刷
第三種郵便物認可
（毎月1日発行）
第一九〇三号

三田学会雑誌

昭和三十七年五月号

定価 二〇〇円（送料別）

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 55, No. 5

May, 1962

CONTENTS

Estimates of Annual Births and of the General Fertility Rate in Japan, 1890-1920..... <i>M. Yasukawa</i>	page 1
——Derived by Projecting the Census Population of 1920 Backwards——	
Geographical Mobility of Labor and Economic Incentives..... <i>S. Nishikawa</i>	31
Measurement of wage Contours..... <i>Y. Sano</i>	50
Coal Miner's Labor Market in Kyūshū..... <i>S. Nishikawa</i>	64
Book Reviews	
Industrial Rationalization and Trade Unionism, by Minoru Sano	<i>K. Iida</i> 82
The Ruling Class. by Sam Aaronovitch	<i>H. Iida</i> 87

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
 (The Keio Economic Society)
 Editorial communications to be sent to
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
 Keio University,
 Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
 Price 120 yen

新刊紹介

堀江正規著『日本の労働者階級』	黒川俊雄	85
リチャード・パイプス編『ロシア・インテリゲンチア』 気賀健三・和田敏雄訳	加藤寛	85
笠信太郎著『花見酒の経済』	大熊一郎	86
E・H・カー著『歴史とは何か』 清水幾太郎訳	寺尾誠	87
宇野弘蔵著『経済学方法論』	飯田裕康	89

集団的企業コルホーズの下における

農業生産力構造の変化と拡大再生産方式

平野 絢子

- 一、生産合作社形成過程における農業生産力の発展
- 二、集団的企業コルホーズの下に再編成された農業生産力構造とその型
- 三、合作社企業における拡大再生産方式と蓄積率
- 四、むすび

一、生産合作社形成過程における農業生産力の発展

中華人民共和国が成立してから十年余、農業生産の発展はきわめて著しいものがある。食糧生産は年平均九・八%の割合で増大し、五八年の大増産、自然災害で尚増産の実をあげえた五九年は後の不作との関連で措くとしても(むすび参照、五七年にすでに四九年段階の一・八倍、棉花に至っては六倍近くの生産量を示している(第1図)。その中、もみ、小麦の大きさを別表示してあるが、食糧総額のうちからもみ+小麦+いも(四斤で食糧一斤に換算)をひいた差額は雑穀でありこの生産量は五〇年段階のもみとほぼひとしく、又余り増加していない。これらの増大は中国経済の社会主義的改造の基本的二分

集団的企業の下における農業生産力構造の変化と拡大再生産方式